守山市立守山中学校

令和5年度
エコ･スクール活動報告書

活動テーマ

持続可能な循環型社会を構築する創造的な人間の育成をめざして

実践事例について

本校は、平成 28 年 11 月に「琵琶湖からの風」や「太陽光」などの自然のエネルギーを最大限利用することにより、『消費エネルギー０』を目指すスーパーエコスクールとして、新校舎での生活をスタートさせた。新校舎を教材として、身近な生活環境を見直し、学校や家庭でエネルギー消費を抑制できることに気づき、地球温暖化の防止に向けた生活を営むことができる生徒を育成するために、３年間の系統立てた環境学習を行っている。

１．継続した環境教育をめざして

本校の環境教育の取り組みが数年で終わってしまうものにならないために、以下の３つを大切にしてきた。

〈体験〉

生徒たちが体験を通して自ら課題を見つけ、仲間と協力して解決方法を見つけ出していけるようなカリキュラム作成を行った。

〈連携〉

学校外の地域の方々の力を借りることで継続した環境学習を目指した。

〈発信〉

この校舎で学んだ生徒たちが、学んだことを生涯にわたり家庭や地域、ひいては世界全体に発信することが出来る力をつけてもらうことを目指した。

２．１年生の学習内容（体験と連携）

（１）光の授業

新校舎の『自然光利用』の様々な仕組みを理解し、必要な光が確保されているにもかかわらず、気づかないうちに照明を無駄に使ってしまっていることに気づかせる。授業後は、ただ照明器具を利用するのではなく、自然光を組み合わせて使うようになった。またこの学習を踏まえ、生徒会環境委員を中心に「その日の環境に応じて照明を正しく消す」取り組みを継続して行っている。

（２）地球温暖化防止推進センター

地球の抱える大きな環境問題の一つである『地球温暖化』について知り、それを抑制するために私たちができる生活の工夫について考えるため、滋賀県地球温暖化防止推進センターの方々にワークショップによる出前授業を行った。

（３）滋賀県内 SDGs 学習

事前学習では講義や SDGｓについての学習を通して SDGs とは何かについて考えた。校外学習では、琵琶湖博物館で琵琶湖について学んだあと、滋賀県内６か所の施設に分かれて SDGs 学習を行った。事後学習では、学んできたことをまとめ、１人１台市から配備されているクロームブックを活用した発表を行った。滋賀県内で行われている SDGs を達成するための取り組みに触れることで、学校生活だけではなく、日々の生活の中で自分自身ができる SDGs を意識した行動を考えた。

3．２年生の学習活動（体験と連携）

大学と連携したSDGs学習

SDGs を達成するための取り組みを学習した。今年度は 11 月に滋賀県にある立命館大学びわこ・くさつキャンパスに行き、SDGｓについての講義を聞いた。

4．３年生の学習活動（発信）

校内発表会

校舎の仕組みや３年間の環境学習で学んだことを班ごとにまとめ、クラスごとに手分けして２年生に向けて発表した。

３年間のうちコロナ禍で活動できなかったものもあるが、自分たちの代で取り組んだ内容を伝えることができた。

来年度以降は、例年通りコロナ前に行っていたように、校区内の小学６年生に向けて発信し、入学前の環境学習として取り組んでいきたい。

5．環境宣言（スローガン）

すべての学年で、各学級の環境スローガンを決めた。1年間を通して、自分たちができる取り組みを宣言し、日々の生活で意識ができるように、掲示物を作成した。

6．委員会の活動

環境委員が毎週照度調べを行い、不要な照明を消す取組を行った。学習に必要な明るさは 700 ルクスであり、晴れた日の太陽の光は 1000 ルクスを超えることもあった。700 ルクス以上の照度が得られる場合は照明を消し、消費電力の削減を意識するための呼びかけを行った。

また、グリーンカーテンの生育や、各教室に観葉植物を置き、学校に緑を増やすような活動も行っている。

7．成果と課題

新校舎が完成して７年。平成２９年度の終わりには、一通りのカリキュラムが完成した。この取り組みの成果として、まず生徒が変わった。以前の修学旅行で、ガイドさんから「守山中学校の良いところはどこですか」と尋ねられて誰も何も答えられなかったことが印象に残っている。コロナ禍前の取り組みである環境学習最後の小学校訪問を終えての感想に多くの生徒が「全国に７つしかないスーパーエコスクールの一つである守中に誇りを持てた。」と書いていた。

入試の面接で「守山中学校の良いところはどこですか」と尋ねられたときにスーパーエコスクールの話をし、面接官の先生がすごく感心して聞いてくれてとてもうれしかったと報告してくれた生徒もいた。また、発表を聞いてくれた６年生の多くが感想に、「１年生の環境学習がとても楽しみになった。ぼくもこんなかっこいい中学生になりたいと思った。」と書いてくれた。実際１年生の担当によると、「昨年、今年と１年生の環境学習に対する意気込みが今までと違う」と感じている。

令和５年度の課題は、環境学習で学んだことを、いかに主体的に実践できる生徒を育てるかだと感じる。生徒達は環境学習を楽しく学び知識を身につけることができたが、学んだことを行動に結びつけるのはむずかしいと言う課題が、生徒アンケートの結果浮かび上がってきた。今後も「体験」「連携」「発信」の３つの点を柱として、生徒にとってより楽しく為になるように、教員には、よりやりがいのある環境教育とするため、さらにカリキュラムの精選をすすめていくことが必要だと考えている。

学校名	**守山市立守山中学校**
住　所	守山市石田町350番地
電話番号	077ー585ー0321
E-mail	morichu@city-mariyama.ed.jp